松江	工業高等	等專門学校	交 開講年度 令和04年度(2022年度)	授業科目	実践英語コミュニケーション2		
科目基礎				,				
科目番号	WID+K	0005		科目区分	一般 / 必	履修		
		授業						
授業形態			₩11 ¥61811₩11	単位の種別と単位		; <u>1</u>		
開設学科		1, .	学科・数理科学科	対象学年	1			
開設期		後期		週時間数	2			
教科書/教	(材		•	•	ntations』(National Geographic Learning)			
担当教員		川上サ	ナマンサ,ペイン ローラ,リスキー カメラ	i				
到達目標	票							
②Write t ③Improv ④Gain kr	pasic, cohe ve pronun nowledae	esive parag ciation, foc of basic sk	rases to express opinions and make graphs with logical structure and flor cusing on individual sounds, intonati kills including using machine translat including eye contact, posture, ges	w. on, and basic stres ion and PowerPoir	ss.	ng details.		
ルーブ!	ノック							
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	バルの目安 未到達レベルの目安 - 未到達レベルの目安 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
評価項目:	1		Able to express opinions with sufficient supporting details.	Able to express adequate suppo	opinions with	Not able to express opinions with adequate supporting details.		
評価項目2	2		Able to understand and apply basic skills learned in the course.	Able to understa	and the basic the course.	Not able to understand the basic skills learned in the course.		
評価項目3	3		Able to make sounds studied correctly and be easily understood.	Able to make m studied correctly understood.		Not able to make sounds correctly and is difficult to understand.		
学科の至	到達目標	項目との	関係					
全学科共								
教育方法								
The primary focus of this course is spoken English focusing on building vocabulary and practical ph to express opinions and make presentations on a variety of topics. Students will develop practical sthem improve their overall academic abilities. Students will also learn how to make English sounds and learn about English stress and intonation. Students will work together providing peer support their presentation content.								
授業の進む	め方・方法	quizze Global you at	m Exam 20%. Final Exam 20%. M s 10%. Attendance/in class particip Commons Events EXTRA CREDIT: \ tend (maximum of 5 points).	ation 10%. /ou can get 1 poin	t of extra credit	for each Global Commons event		
注意点		All stu	dents, regardless of ability, are expe a timely manner.	ected to actively pa	articipate in clas	s and do their assignments well		
授業の履	属性・履何	修上の区2	分					
☑ アクテ	ニィブラーニ	ニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業		
_ , , , ,	177		20. 13/13	2				
+∞*¥=T¤								
授業計画	<u> </u>	1	T	1.				
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
		1週	Skill: Self-Introduction "Elevator F	Pitch"	Short, targeted	geted self-introduction		
		2週	Discussion: Biography (Unit 5)	,	Transition words Verb tenses: past, present, future			
		3週	Presentation Topic: Biography (U	11(3)	Stressing key words Saying numbers and years			
	3rdQ	4週	Discussion: Story (Unit 6)		Sequencing lang Past tense Story arc	y arc		
後期		5週	Presentation Topic: Story (Unit 6)		Stressing key words Gestures			
	1	6週	Discussion: Machine Translation		Critical thinking about errors			
		7週	Skill: Machine Translation - How t	o Use	How to use machine translation software			
		8週	Exams		*No regular lesson*			
		9週	Presentation Topic: Machine Tran		Supporting details			
	4thQ	10週	Discussion: Solving Problems (Un			ical thinking skills		
		11週	Presentation Topic: Solving Proble	ome (Unit 7)		ew researching and visual aids		
		12週	Work on Final Presentation		Review researching and visual aids froups decide on topic and who will do what Vork on writing script and making slides			
		13週	Work on Final Presentation		raction writing script and making slides ractice talking about visual aids ontinue to work on writing script and making ides			
		14週	Final Group Presentations			presentation		
	1	15週	Exams		Give final group presentation *No regular lesson*			
			U ACIUS		Return exams and review semester			
		16週	Return exams and review semest					
モデル <u>-</u> 分類	コアカリ	16週	Return exams and review semestの学習内容と到達目標	er				

Tests & Quizzes Presentations Performance/Attendance 合計 総合評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 専門的能力 0 0 0 0								
				基礎となる	聞き	手に伝わるよう、句・文にお ョン、音のつながりに配慮し		3
基礎になる 中学で認知の話命のたぎを図り、高等学校学習指導要領に準した 別は意味 人の要用教育に必要となる英語の円限を習得して語 1 日来記事と対して語 3 日来記事との文本では「一年 1 日来記事と対して語 3 日来記事と対して認知に関して語 3 日来記事と対して認知に関して語 3 日来記事と対して認知に関して語 3 日来記事と対して認知に関して 4 日来記事と対して認知に選加で 5 日来記事と対して認知に関して 6 日来記事と対して認知に関して 6 日来記事と対して認知に関して 6 日来記事と対して認知に関して 6 日来記事と対して認知に関いて 6 日来記事と対して認知に関いて 6 日来記事と対して認知に関いて 6 日来記事と対して認知に関いて 6 日来記事とは表現までは、1 日来記事とは、1 日来記事とは、1 日来記事と対して書からな意を読み、その問題を記事させた。 3 日来記事とは、1 日本の主意とができる。 3 日来記事とは、1 日本の主意とができる。 4 日来記事とは、1 日本の主意とができる。 5 日来記事と対して 6 日本の主意とができる。 6 日本の主意とができる。 6 日本の主意とができる。 7 日本の主意とができる。 7 日本の主意とができる。 7 日本の主意とができる。 7 日本の主意とができる。 8 日本の主意とができる。 8 日本の主意とは、1 日本の主意と			英語		明瞭	で聞き手に伝わるような発話	ーーーー ができるよう、英語の発音・プ	7 3
大文・社会					新出	語彙、及び専門教育に必要と	高等学校学習指導要領に準じた なる英語専門用語を習得して近	- 遺 3
Power Po				力の基礎固	中学た文法	で既習の文法や文構造に加え 去や文構造を習得して適切に	、高等学校学習指導要領に準し 運用できる。	3
接触中が動物などの文章を弁分10話程度の速度で開き手に伝わる 3 ように首誌ができる。					りと	した発音で話された内容から		
対の基礎図 力の基礎図 力の基礎の 大文・社会 科学 英語画用能 力の基礎の能力 (大文・社会 科学 英語 (大文・社会 科学 (大文・社会 (大文・大文・大文・大文・大文・大文・大文・大文・大学 (大文・社会 (大文・社会 (大文・社会 (大文・社会 (大文・社会 (大文・社会 (大文・社会 (大文・社会 (大文・社会 (大文・社会 (大文・大文・大文・大文・大文・大文・大文・大学 (大)					日常の現を	生活や身近な話題に関して、 用いて英語で話すことができ	自分の意見や感想を基本的なā る。	3
から基礎回							語程度の速度で聞き手に伝わる	3
100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 中国以外の言語中で化を埋卵し、上の上のできる。 中国以外の言語中で化を埋卵し、上の上のできる。 東際の場面で植物的にコミュニクーションを図ることができる。 東際の場面で植物的にコミュニクーションを図ることができる。 東際の場面で積極的にコミュニクーショントを通句においてきる。 東際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニクーションを図ることができる。 1分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを着句が120話程度の速度で聞いてきる。 200 時間の事件のであるとができる。 200 時間の事件のできる。 200 時間の事件のである。 200 時間の事件のできる。 200 時間の事件のであるとができる。 200 時間のディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのよりな当まを行り、主体的な態度で行動できる。 200 時間の事件の学の専門分野のでのできる。 200 時間のようトピックでしていて、200 語程度の文章を行う動できる。 200 時間のあるトピックでしていて、200 語程度の文章を行うが言る。 200 時間のあるトピックで自分の専門分野のブレゼン等にもつながるような姿をあるととのできる。 200 時間のあるトピックで自分の専門分野の同じなどとができる。 200 時間の影響を使いできるとことができる。 200 時間のあるトピックで自分の専門分野に関する論文やマニュアル 200 がをよう、表文テンテンカル 200 ができる。 200 時間に応じて、効果的なコミュニケーション方略 200 時間のは応じて、効果のなコミューケーション方的 200 時間のに応じて、効果のなコミューケーション方的 200 に関連のよりに表示を受け入れる 200 時間のなコミューケーション方の 200							、その概要を把握し必要な情報	3
面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 3 実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 3 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 3 3					日常生	生活や身近な話題に関して、 吾程度のまとまりのある文章 [。]	自分の意見や感想を整理し、 を英語で書くことができる。	3
日分の専門分野などの子傾知調のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを符分120話程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を問き取ることができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディペート)を想定して 3					面で	責極的にコミュニケーション	を図ることができる。	3
基礎的能力 基礎的能力 基礎的能力 基礎的能力 基礎的能力 基礎的能力 基礎的能力 基礎的能力 基礎的情報を関連を変更ができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、実施でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、実施でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、実施でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、実施でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、実施で実施で用能力向上の企業のできる。 「関心のあるトピックについて、200話程度の文章をパラグラフラ 3 で実施で用がなごとができる。 関心のあるトピックについて、200話程度の文章をパラグラフラ 3 で実施で用がなごとエーケーションをとることができる。 関心のあるトピックについて、200話程度の文章をパラグラフラ 3 でディングなと論理が文章の構成に自意して書くことができる。 関心のあるトピックについて、200話程度の文章をパラグラフラ 3 でディングなどの事件が表現の実際が開する論文やマニュアルなどの概念をとし、必要な情報を読み取ることができる。 英文の教験を自分の専門分野に関する論文やアニュアルなどの観察を担強し、必要な情報を読み取ることができる。 英文の教験を自分の専門分野に関する論文やアニュアルなどの観察を担強し、必要な情報を読み取ることができる。 英文の教験を自分の専門分野に関する論文やアニュアルなどの観察を担強し、必要な情報を読み取ることができる。 英文の教験を自分の専門分野に関する論文やアフストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつなかるよう、英文アクニカルフィンにおける基礎的な活彙や表現を使って書くことができる。 実際が適曲や自然の表現を使って書くことができる。 実際が適曲で目的に応じて、効果的なよりを通りなどの基礎的な活彙や表現を使って書くことができる。 実際が適曲で目的に応じて、効果的なよりを通りなどの基礎的な活彙や表現を使って書くことができる。 実際が適曲で目のに応じて、効果的なよりを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を		人文・社会		力向上のた				
英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を視定して、教室内でのでり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報が集を行い、主体的な態度で行動できる。 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のブレゼン等にもつながるアッカ・ウとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のブレゼン等にもつながるアッカ・ウとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文の概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文の概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文の概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文の概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文の概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文の概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文の概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文のの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東文の概要を相関いに応じて、効果のなコミュニケーション方略できる。 東文の表を自分にもつながあることができる。 東文の表を自分にもつながる事では、の意を受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。 本で表に関連できる。 東文のよりに関連できる。 東文化の事象を自分にもの文化と関連付けて解釈できる。 東文化の事象を自分にもの文化と関連付けて解釈できる。 東文化の事象を自分にもの文化と関連付けて解釈できる。 東文化の事象を自分にもの文化と関連付けて解釈できる。 100 100 東文化の事等を自分にもの文を表に表します。 100 100 東京の影響を見かます。 100 10	基礎的能力	科学			する	報告や対話などを毎分120語	程度の速度で聞いて、概要を批	日 日 3
学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 3 ・ 国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で差さる。 ファ語で円滑なコミュニケーションをとるごとができる。 関心のあるトピックについて、2008程度の文章をバラグラフラ オティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 3 関心のあるトピックに向りの専門分野のブレゼン等にもつながるア場な英語での口頭発表や、内容に関する論文やマユュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 3 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文や文ユュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 3 要文資料を売りの専門分野に関する論文の英文アプストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう。英文テクニカルライティングにおける基礎的な話彙や表現を使って書くことができる。 3 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェズチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 3 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェズチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 3 本化理解といる要とな認識している。空音など必要であることを認識している。空音な必要であることを認識している。 実際などの要とないる。できなどの要とないる。できなどの要とないる。できなどの要とないる。できなどの事を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3 様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。 実文化の事を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3 評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 事際的能力 50 40 10 100 事際的能力 60 0 0 0	Z-WCB 716075				、教	室内でのやり取りや教室外で	応じてディベート)を想定しての日常的な質問や応答などがで	3
で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。					英語 学生	でディスカッション(必要に応 自ら準備活動や情報収集を行	びてディベート)を行うため、 い、主体的な態度で行動できる	5 3
カートのための学習								1 3
日本								
おどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。					平易	な英語での口頭発表や、内容	分野のプレゼン等にもつながる に関する簡単な質問や応答なる	3
マーション では、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適している。 3 オローバリ でして、カスパーを含め、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 オローバリ でして、カスパーの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる。 3 エ学基礎 できる。 では、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる。 3 様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。 カいて説明できる。 3 評価割合 Tests & Quizzes Presentations Performance/Attendance 合計 総合評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 専門的能力 0 0 0 0					関心はなどの	のあるトピックや自分の専門: の概要を把握し、必要な情報	分野に関する論文やマニュ <i>ア</i> ル を読み取ることができる。	3
					や口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカル ライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことがで			$ v _2$
工学基礎 グローバリゼーション・異文化多文化理解 ブローバリゼーション・異文化多文化理解 様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。 3 評価割合 Tests & Quizzes Presentations Performance/Attendance 合計 総合評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 事門的能力 0 0 0 0					(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適		<u> </u>	
評価割合 Tests & Quizzes Presentations Performance/Attendance 合計 総合評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 専門的能力 0 0 0 0			ゼーション ・異文化多	グローバリ ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。		3 3	
評価割合 Tests & Quizzes Presentations Performance/Attendance 合計 総合評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 専門的能力 0 0 0 0		工学基礎			様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に ついて説明できる。		3	
Tests & Quizzes Presentations Performance/Attendance 合計 総合評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 専門的能力 0 0 0 0			~ \ U- ±/JT	/ \ U- E/JT	異文化	化の事象を自分たちの文化と	関連付けて解釈できる。	3
Tests & Quizzes Presentations Performance/Attendance 合計 総合評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 専門的能力 0 0 0 0	評価割合							
総合評価割合 50 40 10 100 基礎的能力 50 40 10 100 専門的能力 0 0 0 0		1				Presentations	Performance/Attendance	 合計
基礎的能力 50 40 10 100 専門的能力 0 0 0 0							,	
専門的能力 0 0 0 0						40		
	分野横断的能力 0					0	0	0